



東長崎

—ひがながプライド—

HIGANAGA PRIDE  
HIGASHI NAGASAKI JHS

自ら誇りと自信を持ち、率先して行動する

長崎市立東長崎中学校  
学校だより 第 4 号  
令和 4 年 4 月 27 日発行  
副校長 川口昌文

## 多くの方に授業参観にきていただきました

新型コロナウイルス感染症の影響のため、授業参観を通して生徒たちの授業の様子を見ていただく機会をなかなか持つことができませんでしたが、ようやく 4 月 22 日（金）に授業参観ができました。お忙しい中に参観いただいた保護者の皆様へ、この場を借りて感謝申し上げます。また、今回ご都合等により参観いただけなかった方につきましては、また別の機会に参観いただけると嬉しいです。

今回の授業参観は、できるだけ担任の授業をと時間割を組みました。本校職員には久しぶりの授業参観で緊張している者もいたようですが、それぞれ熱のこもった授業を展開していたと感じました。



## 令和4年度 東長崎中学校 PTA 定期総会

PTA 定期総会の前の時間で学級懇談会をしました。まず、帰りの会を指導している担任の到着を待つ間に、同じ学級の保護者同士で自己紹介等をしていただき、担任到着後は担任からの学級経営方針等の話をしました。その後、定期総会となり、その際に、本校 川本校長からご挨拶させていただきました。

本校は、本年度から学校教育目標を「自主的に判断し、行動できるとともに、他者との関わりを大切に協働できる生徒の育成」としています。

その達成のためには、学校における教育とともに家庭教育の力も必要です。その家庭教育について学ぶための社会教育団体としての PTA 組織はたいへん重要であると認識しています。

先日、公表された長崎市の「第 2 期教育大綱」（教育大綱とは長崎市民はどのような人づくりを進めていくかを示したものです。）その中の一つ「つながりと創造で未来の長崎へ」の中の記述を紹介します。

つながりによって創造される力や発想を生かし、健やかな育ちを支え、学びを深めるための新たな仕組みの構築や長崎らしい多様な体験活動の充実を図ることで、時代の変化に対応しながら、自ら学び、考え、行動し、未来を切り拓くことができるひとづくりに努めます。

子育ての当事者である保護者同士がつながること、学校教育の当事者である教職員と保護者がつながることは、たいへん重要なことです。その橋渡しをしてくれる PTA の存在は学校にとってたいへん力強いものです。今後とも学校と PTA が相互に連携し合って未来を切り拓く人づくりにつながることに期待しています。

本校を運営していくにあたり、PTA のお力添えは、大変ありがたいものです。また、会員の皆様からいただいた会費の一部も、生徒たちのために大切にさせていただきます。

## 令和4年度 東長崎中学校課外クラブ振興会総会

お子様が部活動に入っている保護者の方が参加する課外クラブ振興会総会の中で、川本校長が挨拶した内容です。本校の部活動に対する想い、考え方です。

人がより良く成長していくには、様々な人と出会い、その人間関係の中で我慢することや他人を思いやること、自分の成長に関わってくれた人への感謝の気持ちを持つことなどが必要となります。その意味では、中学校の部活動は大きな効果を持つものと考えます。

その部活動を課外クラブ振興会の皆様へ支えてもらっていると学校は感じており、感謝しています。

本年度も生徒が活躍する姿を楽しみにしています。お力添えのことよろしくお願ひします。